



2022-23 年度
国際ロータリー会長
ジニファー・ジョーンズ

Weekly Report Niigata



2022~23 年度
新潟ロータリークラブ会長

石川 治彦

新潟 RC 2月第2例会 (2023.2.14) (Zoom 例会併催) No.3447

- (1) ロータリー—ソング「四つのテスト」ピアノ演奏
- (2) 石川 治彦会長挨拶

江戸期の庭園のお話を続けてきましたが、ここで日本庭園を語る上では欠かせない、日本三大庭園をご紹介しますと思います。

日本三大庭園と言えば水戸の偕楽園、金沢の兼六園、岡山の後楽園、です。どれも江戸後期に造園された典型的な大名庭園で、池を中心とした池泉回遊式庭園の形をとっています。各地の観光スポットとして絶大な人気を誇っており、そして特に兼六園と後楽園は、国の特別名勝にも指定されています。

三大庭園がその中でどれが一番とゆうことはなく、それぞれ庭園のテーマや成り立ちを持っていますので、見どころと言った意味からもそれぞれご紹介していきたいと思えます。

数ある日本庭園の中で、この日本三大庭園が選ばれたのは、明治時代のこと。元々は海外から日本へやってくる外国人観光客向けに作られたパンフレットの中で、この3つの庭園が紹介されたのがその始まりとされています。当時は三大公園として紹介されていたらしく、世界の名だたる公園に匹敵する日本の庭園として紹介されたものだと言えます。

日本三大庭園が選定された理由は、この3つの庭園がそれぞれ「雪月花」というテーマを持っていることが由来しています。

「雪月花」は、中国の詩人白居易が残した漢詩「雪月花時最憶君」(雪月花の時 最も君を憶ふ) (季節ごとの美しさを感じるときに君を思い出す) という詩から誕生した言葉で、季節の移ろいや美しさを表現する言葉として日本でも使われるようになりました。明治時代に選定されたこの三つの大名庭園は、この「雪月花」に基づいて選ばれたと考えられています。金沢の「兼六園」は「雪」、水戸の「偕楽園」は「花」(梅)、そして岡山の「後楽園」は「月」の名所としてそれぞれ紹介されています。

古来日本では「花」と言えば「梅」のことを指し、梅と言えば水戸の偕楽園です。

偕楽園は天保13年(1842年)に水戸藩第九代藩主徳川斉昭(とくがわ なりあき)によって造園されました。

偕楽園はなんとといっても庭園の1/3を占める梅が特徴的です。梅の花の道をここまで広く歩ける庭園はかなり珍しいと思います。

また偕楽園は、空襲で多くの建物が被害を受け、現存する建物はほぼ復元されたものばかりですが、徳川斉昭公が自ら設計したと言われ、梅を意味する好文の名がつけられた「好文亭」など見どころがたくさんあり、特に奥御殿からの眺めが素晴らしく、人気の撮影スポットにもなっています。

また、茨城県で産出する大理石の寒水石から湧水が出る「吐玉泉」は、目の病によく効く霊水と言われています。

偕楽園のこの他のおすすめスポットとしては、1000本もの「孟宗竹」が並ぶ巨大な竹林です。表門から左手に立ち並ぶこの竹林は、京都からわざわざ移植されたものです。

そして雪と言えば雪つりが有名な兼六園です。兼六園は延宝4年(1676年)、加賀藩5代藩主前田綱紀が金沢城に面する傾斜地に別荘を建て、その周辺を庭園にしたのが始まりで、これが現在の兼六園の礎です。その後の藩主によって建設が進み、文政5年(1822年)12代斉広の時に「兼六園」をいう名が付けました。

その後も改修が続き現在に至ります。

兼六園は灯籠や橋の配置が巧みで、背景の自然と一緒に視界に入ること、自然だけではない人の手による演出が庭としての雰囲気を高めています。そういった庭園としてのつくりこみや配置が一番上手と思います。

松の雪吊りは雪国ならではの造形美で、ここならではのでしょうか。

月は後楽園です

後楽園は最初は元禄2年(1689年)に原形が造られ、最初は藩主である池田綱政が滞在する建物とその南に広がる庭園、東には田畑が広がる簡単な庭園でした。その後、池田綱政により敷地が北側や外周の土地が付け足されていき、田園風景を思わせる畑が園内に存在していたのですが、また藩の緊縮財政により幕末にかけて徐々に園内の畑だった箇所に芝生が植えられて現在の形になっています。現在の姿からその面影を感じ釣ることもできます。そして秋の紅葉シーズン。特に、秋には、月の後楽園にちなんで中秋の名月を愛でる月見イベントも開催されます。

いずれの庭園も当時の藩主の個人的というよりは、家臣やその家族そして領民を含めて楽しめまた文化や学問などの学びの場所として作られたものであると言え、これまで紹介してきた庭園と異なり、この時代の藩主の庭園は現在の公園に近い要素も多く含まれるようになりました。日本庭園と言ったものがいよいよ一般化してきた時代ともいえると思います。

他にも香川県高松市の栗林公園や広島縮景園、熊本の水前寺成趣園、などその地方には数多くのその時代につくられた名園が存在し、日本庭園の幅が広がったと言えると思います。このような広大な日本庭園の形は海外からの関心を集めその美しさが世界中に広まり、時代をへて数多くの日本庭園が海外に作られるようになったと考えられます。

(3) ゲストの紹介

新潟日報社総合推進センター部長代理 荒井雅美さん

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(高橋 秀樹委員)

本多 章君

米山奨学会寄付発表(北爪 彰人委員)

石川 治彦君

(5) ニコニコボックス紹介(関川 博信委員長)

・佐藤 明君 初めての会員スピーチなのでよろしくお願いします。

・本多 晃君 誕生日のワイン、ありがとうございました。本日、ワインに合うチョコを頂いたので、今晚一緒に楽しもうと思います。

・五月女政義君 誕生日のお祝いをいただきありがとうございました。

・小山 章司君 誕生日祝いにワインを頂きました。楽しみに飲ませて頂きます。

(6) 幹事報告(高野 潤幹事)

「第21回ロータリー全国囲碁大会」のご案内

日時 2023年5月20日(土)

09:30 登録受付 10:00 開会式 16:00 表彰式

会場 東京・市ヶ谷の日本棋院本院1階対局室

主催 ロータリー囲碁同好会

共催 第2580・2750地区

ホストクラブ 東京RC

参加料 7000円(昼食代、賞品代等含む)

参加ご希望の方は新潟ロータリークラブ事務局へ4月末日までにお申し込み下さい。

(7) 会員スピーチ

「にいがた鮭プロジェクトについて」

㈱新潟日報社 代表取締役社長 佐藤 明君

(8) 2月14日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
88	84	64	76.19

Zoom参加 19名

2月21日は新潟市内7RC合同例会の振り替えで例会は開催されません。

合同例会は2月22日(水曜日)

18:00受付 18:30開会

ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催されます。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>